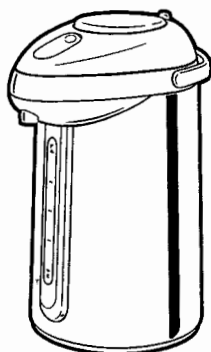
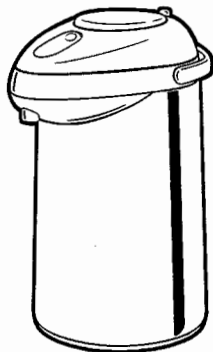


エアポット かる 〈おす軽〉

PNR-A,B



PNR-A
(水量計つき)



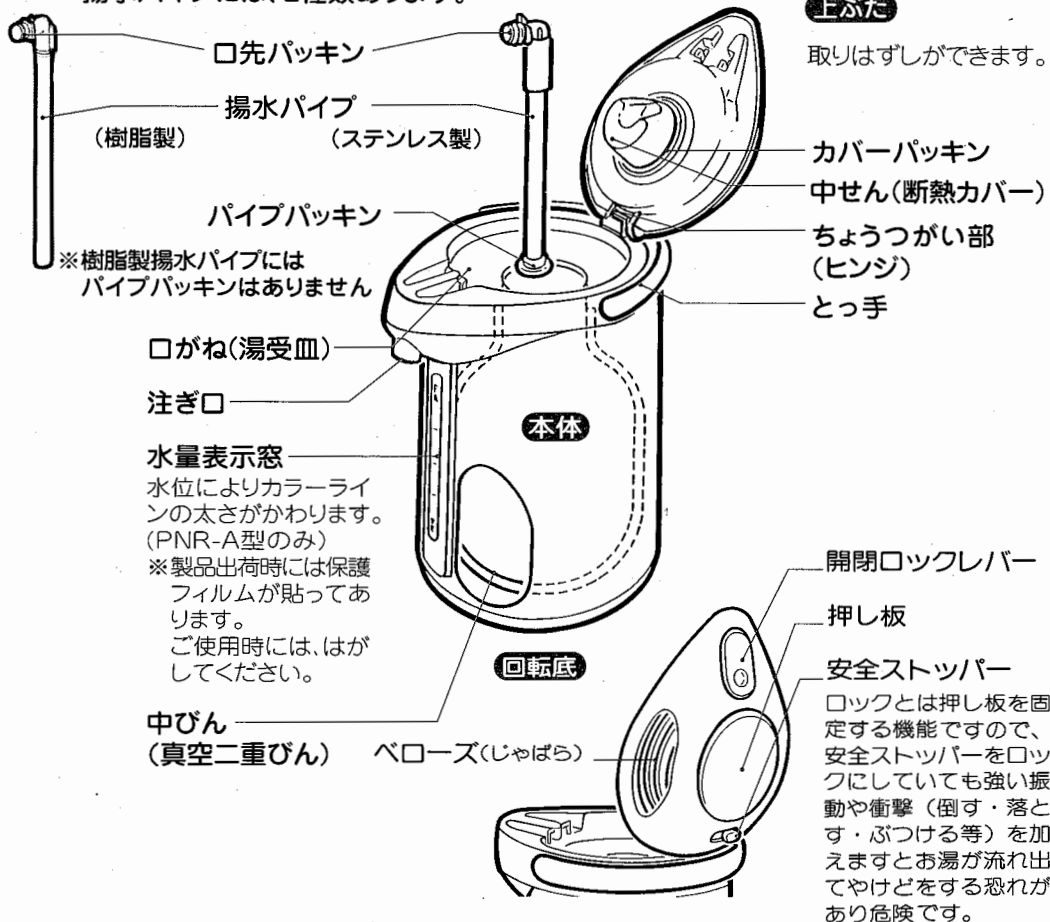
PNR-B

取扱説明書

このたびは、お買い上げまことにありがとうございます。
ご使用になる前に、この取扱説明書を最後までお読みください。
お読みになったあとは、お使いになる方がいつでも見られるとこ
ろに必ず保管してください。

各部のなまえとはたらき

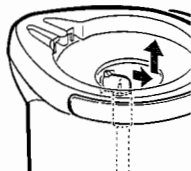
揚水パイプには、2種類あります。



揚水パイプの着脱方法

○はずし方

- 揚水パイプの上部をつまみ、ゆっくりと引きぬぎ、まっすぐ上に持ち上げます。



○つけ方

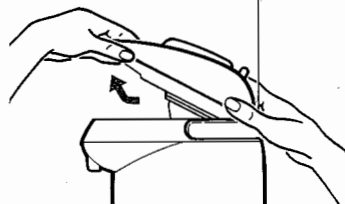
- 揚水パイプの上部を確実に差し込みます。
※取りつけが不十分ですと、お湯が出ないことがあります。



上ぶたのはずし方

上ぶたを45度に開けた状態で、上ぶたちょうつがい部を注ぎ口方向によせてから上に持ち上げます。

上ぶたちょうつがい部



必ずお守りください (もれたり、あふれたりすると、やけどや他のものを汚す原因になります。)

- 飲料物の保温、保冷以外に使用しないで



- 次のものは入れないで

- ドライアイス、炭酸飲料など
内圧が上がり、内容物が吹き出るおそれがあります。
- 牛乳、果汁など
腐敗、変質の原因になります。
- お茶の葉、コーヒー、果肉など
目づまりや、注ぎ口からしずくが落ちる原因になります。



- 急熱、急冷しないで

冷たいものを入れた直後に熱いものを入れたり、その逆は、中びん破損の原因になります。



- 次の場所では使用しないで

- コンロ、ストーブなど火気の近くや直射日光のあたる場所
樹脂部の変形、変色の原因になります。
- お子様の手の届くところ
やけどなどのおそれがあります。
- 自動車の中
やけどや汚れの原因になります。



- 倒したり落としたりぶつかけたり、強い振動（特に上下の振動）や衝撃を加えないで

中びんが破損したり、お湯が出てやけどをするおそれがあり危険です。

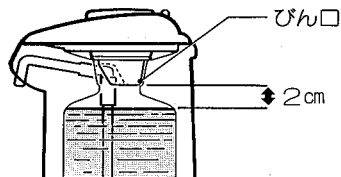


- 持ち運びはとっ手をもって

上ぶたを持ったり、傾けたり横にして持たないでください。やけどや汚れの原因になります。



- お湯の量はびん口より約2cm少なめに（揚水パイプの樹脂部の下端を目安に）
入れすぎると、上ぶたを閉めるときにあふれることがあり危険です。



- 揚水パイプで氷をかきまぜない
また氷を入れた場合ポットを強くゆすったりしない

中びん破損の原因になります。



- お湯が少ないときは押し板を強く押さない

注ぎ口からお湯が飛び散ることがあります。



- 残り湯を捨てる場合は、上ぶた、揚水パイプを取りはずし、注ぎ口は横に向けて

注ぎ口が下を向いていると注ぎ口からお湯が出て、やけどや他のものを汚す原因になります。



- 本体の丸洗いはしないで

水が侵入しサビが発生したり、他のものを汚したりします。



- 分解修理はしないで

故障や事故の原因になります。



ご注意とお願い

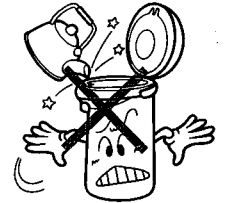
- シンナー類、フレンザー、金属たわし、化学ぞうきん、漂白剤などは使用しないで

傷やサビ、故障の原因になります。



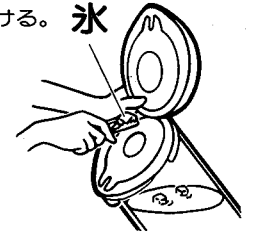
- ポットの肩部分に熱いヤカンをあてないで

傷や変形の原因になります。



- 水を入れる場合は次の手順で

- ①揚水パイプをはずす。
- ②先に水を入れる。
- ③小さく砕いた氷を、本体を斜めにしてすべらすように入れる。
- ④揚水パイプを取りつける。 **氷**
そうしない場合中びん破損の原因になります。



- 揚水パイプを着脱する場合、パイプを中びんにあてないで

中びん破損の原因になります。



- 熱いお茶を入れて保温した場合、お茶の色が変わることがあります。

中びんにはお湯を入れ、お茶のときは急須等をご使用ください。

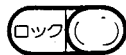


ご使用の手順

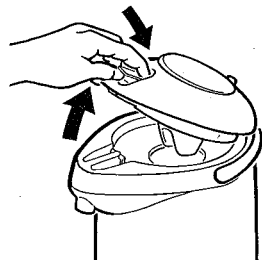
ご使用前に必ず中びん、揚水パイプ、口がね、注ぎ口を洗ってからご使用ください。

1 上ぶたを開ける

- ①安全ストッパーを〈ロック〉にセットします。

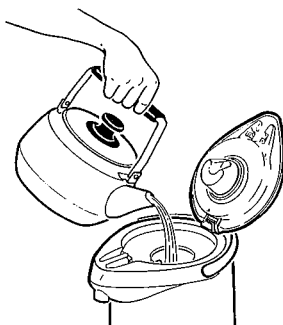


- ②開閉ロックレバーをつまみ上げ、上ぶたを開けます。



2 お湯(水)を入れる

- ①お湯(水)を入れる前に、揚水パイプが取り付けられているのを確かめてください。
- ②保温効果を高めるため、あらかじめ少量の熱湯を入れ予熱しておきます。
- ③予熱後はそのお湯を捨て、新しいお湯を入れます。

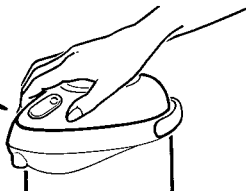


※揚水パイプにお湯があたり、まわりに飛び散らないようご注意ください。

3 上ぶたを閉める

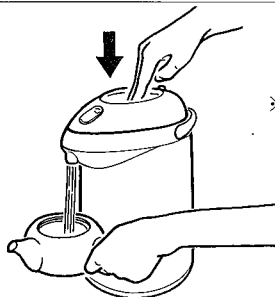
上ぶたをカチッと音がするまで確実に閉めます。

カチッ



4 お湯(水)を注ぐ

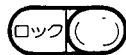
- ①安全ストッパーを〈解除〉にあわせます。
- ②容器を注ぎ口に近づけ、押し板のまん中をゆっくりと押しします。



※注ぎ口から“しずく”が落ちることがあります。そのときは、しずくが落ち切るのを待ってから容器をおとりください。

5 注ぎ終わったら

安全ストッパーを必ず〈ロック〉にセットします。

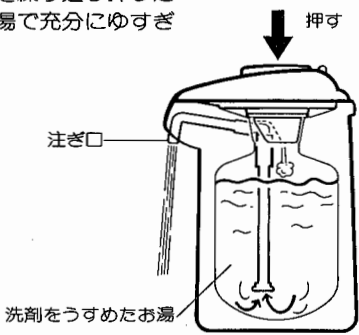
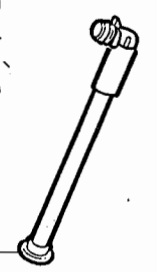


- 毎日残り湯を捨て、お手入れの後で新しいお湯を入れてください。

※お手入れをおこたったり、残り湯を長い間入れたままにしておきますと、各部はもちろん、特に水位管(PNR-A型のみ)の汚れがめだってきます。

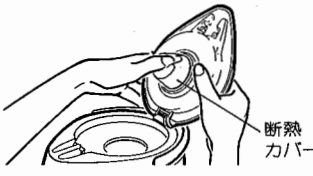
お手入れの方法

- ご使用後は、いつまでも清潔にご使用いただくために必ずその日のうちにお手入れをしてください。
- シンナー類、フレンザー、金属たわし、化学ぞうきん、漂白剤などは使用しないでください。
- 洗剤は必ず台所用合成洗剤（食器用・調理器具用）をご使用ください。
- 洗剤分は後で十分に洗い流してください。
- 保存される前には次の要領で各部を充分にお手入れをし、よく乾燥させた後、湿気の少ない場所に保存してください。

本体・上ぶた	
<p>洗剤をうすめたお湯をやわらかい布にふくませ、かたくしほり汚れをふきとります。後は、柔らかい布で空ぶきします。</p>	<p>※丸洗いはしないでください。サビの原因となります。</p> <p>※特に注ぎ口付近は清潔にしてください。汚れますと、水の切れが悪くなる場合があります。</p>
揚水パイプ	
<p>揚水パイプは洗剤をうすめたお湯の中で、やわらかいスポンジで洗います。さらに揚水パイプ内部は、中びんに洗剤をうすめたお湯を入れ、揚水パイプをセットしたまま押し板を繰り返し押しした後、お湯で十分にゆすぎます。</p> 	<p>※煮沸はしないでください。変形することがあります。</p> <p>※損傷しないよう、ていねいに取扱ってください。</p> <p>※揚水パイプの先端に付いているパイプパッキンは、金属パイプが中びんにあたって割れるのを防ぐものです。お手入れの際になくしたり、つけ忘れたりしないでください。</p> 
中びん	
<p>お湯でうすめた洗剤液を柄のついた柔らかいスポンジブラシに含ませ、ていねいに洗います。（フレークス発生の場合は、別項を参照）</p>	<p>※たわしやみがき粉、金属たわしは絶対に使用しないでください。中びんに傷がつき、破損の原因となります。</p>

修理を依頼される前の点検の方法

- 次の点検をしてもなお不具合の場合は、お買い上げの販売店へご相談ください。

このような場合	点 検	処 置
<p>■お湯が</p> <ul style="list-style-type: none"> ●出ない ●出にくい 	<p>カバーパッキンが、はずれていませんか？</p>	<p>はずれていれば取り付けてください。</p>
	<p>揚水パイプが、はずれていませんか？</p>	<p>はずれていれば確実に取り付けてください。</p>
	<p>揚水パイプがつまっていますか？ 破損していませんか？</p>	<p>水道水を勢よく流し込んでください。 破損していれば、新しいものをお買い求めのうえ、お取り替えください。</p>
	<p>ベローズが損傷していませんか？ ※断熱カバーの穴に指をあて、押し板を押し最後まで下がるようでしたらベローズが損傷しています。</p> 	<p>損傷していましたら、修理が必要ですので、お買い上げの販売店へご相談ください。</p>
<p>■お湯が</p> <ul style="list-style-type: none"> ●さめやすい 	<p>上ぶたがきつちりと閉まっていますか？</p>	<p>きつちりと閉めなおしてください。</p>
	<p>熱湯をほぼ満量入れ、30分後本体ケース部を手でさわってみてください。</p>	<p>もし本体が温かいようであれば、お買い上げの販売店に中びん修理をご依頼ください。 ※保温効果は、沸騰したお湯をできるだけ多く入れる程、高くなります。</p>

※揚水パイプおよび各部パッキン類は消耗品です。半年から1年を目安に、汚れが目立ってきましたら、お買い上げの販売店にお問合わせのうえ、お買い求めください。

フレークスが発生した場合のご注意

まほうびんにお湯を入れておくと、キラキラ光るものが見つかることがあります。これは「フレークス」と呼ばれ、お湯の中に溶け込んでいるミネラル成分が化合して、ガラスびんの内壁に薄い膜を作り、これがはがれて浮遊したものです。フレークス自体は健康上有害なものではありませんが、もし発生した場合は、中びんに食酢を約10%加えた湯を入れておき、30分～1時間後、やわらかいブラシなどで、びんの内壁をよく洗ってからお使いください。

※中びんは、フレークスが発生しない場合でもときどき同じ方法でお手入れしていただく効果的です。

品質管理には細心の注意をはらっておりますが、万一製品が不具合なときは、お買い上げの販売店、または「連絡先」に記載のタイガーお客様ご相談窓口（下記）へ次のことをご知らせの上、ご相談ください。

①製品名 ②品番 ③製品の状況（できるだけ詳しく）

また、製品に関するご質問などもお気軽にお問い合わせください。

※中びんその他の破損修理、各 부품の別売りもいたしております。

本書に記載の意匠、仕様および部品は性能向上のために一部予告なく変更することがあります。

連絡先

タイガー魔法瓶株式会社

本社 〒571-8571 大阪府門真市速見町3番1号

使いかた・お買い物のご相談は **お客様ご相談窓口**

ナビダイヤル
(全国共通番号)



0570-011101

有料でご案内させていただきます。

※ナビダイヤルがご利用いただけない場合はこちらへ

TEL(06)6906-2121

☎ 受付時間 AM9:00～PM5:00 月曜日～金曜日（祝日・弊社休業日を除きます。）

※上記の連絡先の名称、電話番号、所在地は変更することがありますのでご了承ください。

ホームページアドレス <https://www.tiger.jp/>

消耗品・別売品のご購入ホームページ <http://www.tiger-shop.jp/>